

3/4 沖縄の心を世界中に広めたい

市の魅力を広く発信し、イメージアップを図るための「ちゃんぷる～沖縄市大使」に、市出身の新世代rapper Rude-α(ルードアルファ)さんが就任しました。

Rude-αさんは、16歳から音楽活動を始めており、これまでに発表された楽曲が、テレビCM・人気アニメや「全国高校野球沖縄大会」実況生中継のテーマソングになったほか、沖縄戦を題材に平和への願いを込めて制作された「うむい」などが話題となりました。

また、琉球ゴールデンキングス試合のハーフタイムショーへの出演や、海外音楽フェスティバルに参加し、海外ライブツアーを行うなど、国内外で活躍しています。

Rude-αさんは「音楽が溢れ、優しさが溢れている沖縄市には、世界中の人が幸せになれるような心があると思う。そういうところを全力でPRしていきたいと思います」と話しました。



2/16 令和3年度沖縄市技能功労者表彰式

令和3年度沖縄市技能功労者表彰式が市役所で行われ、今年度は6人の技能功労者が表彰され、桑江市長から表彰状と記念品が贈られました。

【被表彰者(敬称略・順不同)】

道鬼正彦(左官職・従事年数25年)、仲宗根信義(配管工・従事年数38年)、富田文師(自動車修理工・従事年数41年)、仲程博晃(自動車修理工・従事年数36年)、平良敬(鍛冶職・従事年数26年)、大城守幸(調理師・従事年数33年)



2/23 沖縄市こども議会議員☆任命式☆

子どもたちが自分たちの住むまちに関する学習を通して、自らの意見を表明し、未来志向でまちづくりに参画する場として開催する「第9回沖縄市こども議会議員任命式」が市議会本会議場で行われ、桑江市長からこども議員の中学生19人(定員30人)に任命状が授与されました。

今後は、勉強会などを通して市の課題等を見つけ、8月の本会議に向けて調査・研究を行っていきます。



3/2 与那嶺奈美子氏へ厚生労働大臣表彰

長年にわたり民生委員・児童委員として社会福祉の推進に貢献した功績が讃えられ、与那嶺奈美子氏が、厚生労働大臣表彰を受賞しました。

与那嶺氏は「28年間活動を続けてこられたのも、皆さまに支えていただいたおかげです。いろいろな方から声を掛けてもらえる今がある事が私の財産です。この先も、皆さまにお返しができるよう、活動を続けたい」と話しました。



3/7 令和3年度沖縄県文化協会賞受賞報告

令和3年度沖縄県文化協会賞に沖縄市文化協会から功労賞2人、奨励賞2人が受賞し、沖縄市文化協会会長や受賞者が、市役所を訪れ、桑江市長に受賞の報告をしました。

【被表彰者(敬称略・順不同)】

- 功労賞 伊佐 恵美子(琉球舞踊 活動年数:36年)
平良 須賀子(琉球舞踊 活動年数:36年)
- 奨励賞 富里 敬子(琉球舞踊 活動年数:36年)
山下 泉(文芸 活動年数:13年)



マイチロ



マイ広報誌



子育て



健康

2/15~28 『ガッツガッツGUTS!』でチバリヨー!

プロ野球セ・リーグ広島東洋カープの春季沖縄キャンプが2月15日からスタートし、同日、コザしんきんスタジアムで市や広島東洋カープ沖縄協力会による球場歓迎式が開催されました。

桑江市長は「1982年から続く春季キャンプを通じて、ファンの皆さま、沖縄市民が一丸となり、これからも広島東洋カープをサポートしていきます。カープの優勝を目指し、『ガッツガッツGUTS!』でチバリヨー」と激励の言葉を贈りました。

佐々岡真司監督は「今シーズンこそ皆さまの期待に応えられるよう、チーム一丸となって優勝目指して頑張ります」と力強くあいさつしました。

翌日には、同球場で横浜DeNAベイスターズとの練習試合が行われました。



2/18 FC琉球2022シーズン開幕

琉球フットボールクラブ株式会社の小川淳史取締役社長と喜名哲裕監督等が、市役所を訪れ、桑江市長に2022シーズン開幕の挨拶を行いました。

小川社長は「今シーズンは、プレーオフという制度が復活します。昨シーズンに負けられないようにいい順位で、J1を目指していこうと思っています」と力強くあいさつしました。



2/18・22 カープジャンパー議会

広島東洋カープを応援しようと、市議会議員全員と桑江市長、市職員が赤色のカープジャンパーを着用して2月定例会が開会されました。

今年は、コザしんきんスタジアムでのキャンプが2月15日から28日まで行われ、その間の18日と22日の2日間カープジャンパーを着用して本会議に臨みました。



3/2 Bリーグからエコバッグの贈呈

今年1月に開催予定であった「B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2022 IN OKINAWA」の際にB.LEAGUEから寄贈されたエコバッグを、市内全小学校の1年生に配布するための贈呈式が、諸見小学校にて行われました。

エコバッグは、不要となった衣類で作られたもので、諸見小学校の卒業生で琉球ゴールデンキングスの並里成選手と桑江市長から生徒へ手渡されました。



2/27 楽しくバスケ「KINGS公民館」

バスケットボールを通して琉球ゴールデンキングスと地域住民がふれあう「KINGS公民館」が、市泡瀬公民館の体育館にて開催されました。

キングスと関わりたいという東部地域の声を受けて開催され、U18ヘッドコーチの与那嶺翼氏らを講師に迎え、参加した泡瀬・美東・室川小学校のミニバスチームはシュートやドリブルなどの技術を学びました。



2/24 沖縄市特産「食用菊」の収穫体験

美里工業高校調理科の2年生が、市特産「食用菊」について学ぶため、市宇大工廻にある食用菊畑にて収穫体験を行いました。

食用菊農家で女性農業士の又吉彩子氏らを講師に招き、調理法や収穫方法などを学びました。

収穫体験を終えた生徒は「貴重な経験だった。これまでにない新しいレシピを考えたい」と話しました。



2/9 福祉のまちづくり推進懇話会より答申

沖縄市福祉のまちづくり推進懇話会(上地武昭会長)は、第6次沖縄市地域保健福祉(活動)計画について桑江市長へ答申しました。

第6次地域保健福祉(活動)計画は、令和4年度からの5か年計画で、市の地域保健福祉計画と市社会福祉協議会の地域福祉活動計画を、一体的に策定した初の計画となります。



3/7 タッグを組んで交通の安全を守る!

交通安全の広報・啓発活動を通し、交通安全の取り組みの連携強化を図ることを目的に、沖縄県警察と沖縄市が連携基本協定を締結しました。

沖縄県警察本部の大城辰男交通部長は「モータースポーツマルチフィールド沖縄を活用し、交通安全のイベントを通して、沖縄市が交通安全の発信拠点となるよう、交通事故防止をしっかりと伝えていきたい」と話しました。



3/8 市の魅力を発信「九州探検隊」

本市の観光PRや物産振興を図るため、魅力あるモノ・コト・文化などの情報発信を担ってもらうことを目的に、市役所にて、沖縄市と株式会社博多大丸との「九州探検隊」アンバサダー認定式が行われました。

九州探検隊は、九州・沖縄の行政機関と連携して情報の収集・発掘を行い、専用サイトなどで積極的に発信するプロジェクトを行っています。



3/10 知花花織 120年の時をこえて

市の指定民俗文化財である知花花織の衣装「ウッチャキ(打掛)」が寄贈されました。

寄贈者の新里八十秀氏の曾祖母である兼島ムト氏の手で明治39年頃に織られたもので、市に2着しか現存していないうちの1着です。

寄贈品の「ウッチャキ」は、沖縄市立郷土博物館で6月頃に公開される予定です。



3/3 駐車ルールを守ろう! 山内小から発信

障害者等用駐車区画の適正利用を促す「パーキングパーミット制度」の普及啓発活動の一環として、山内小学校にて、5年生の運営委員による障害者等用駐車区画のペンキ塗りが行われました。

目立つ青色を塗った生徒は「青色を見て、高齢者や障がい者が停める場所だと意識してほしい。みんなが楽しくお買い物できるようになってほしい」と話しました。



まちいロ



まい広報誌



子育て



健康